

第三回ホスピ川柳一次選考通過 500 作品 (順不同)

令和3年9月6日
株式会社 名優

<句>

ひめゆりのごとく令和のナース達
ありがとう旅立つあなた手をにぎる
後3日3度目になるその言葉
なかなか逝けないねなんて笑う母
声なき声じっと眼を見る手を握る
ありがとう今日は私が母を抱く
生きてくれコロナ終わって会えるまで
病名の付かぬ症状ばかり病む
母の目に映る私はまだ赤子
「もう終わり」なんて言うなよ「生きてるぞ」
カーテンがひっそりと開く午前2時
ありがとう。人のからだを治す人
辛くても泣かない母の嬉し泣き
ホスピスは喧嘩別れで帰れない
生きたい、とあの娘が嫁ぐその日まで
聞こえるか感謝の気持ち俺の声
ホーム入り今夜は母に添い寝する
母負ぶう軽さ切なさ愛おしさ
ホスピスは孤老孤独を見捨てない
星を見て元気でいてと願う母
その日まで泣いて笑って寄り添って
無力さを笑顔でかくす朝の顔

<雅号>

あおちゃん
のぶやん
青木昌代
宮のふみ
みんなの命
おだめ
我妻匠
蛙屋柳斎
天空人
小春日和
ねこきち3
まみれん
減点パパ
どっこいしょ
亀ちゃん
ルビーパールダイヤ
みっこ
松風
黒潮
うるとら母
こぶだい
maki

小さな祖父の背指さす祖母の細い腕
無言でも通じ合います母の子です
朝焼けが母に眩しい枕元
幾とせの憂いを詫びて母に添う
忘れても言うよ母さん大好きと
父の脛かじり過ぎたりこの細さ
遺されたまぐらの匂い今もなお
入院の父が居ないと鳴く子猫
引かれた手引いて介護の桜道
踊る輪を抜けて介護の位置に着く
ああ妻よ切らないでくれ赤い糸
おはようと言える幸せ母の顔
日々欠ける記憶のピース拾い上げ
母握る指を解いて去るホーム
車いす父の背中にてんとう虫
いがみあうおじいとおばあいつまでも
共にいる貴方が俺を忘れても
新しい靴よ歩こうお母さん
元気でねビニール越しに手を重ね
任せたよお腹の孫の名付け親
話すことかなわぬ父の目に涙
弱音吐くオレを叱れよ床の母
余命2月運命では無い!変えてやる
子に戻る母をおぶって帰る道
ありがとう命支えるのも命
具合聞く非番の医師にただ感謝
冷えた手を胸であたため介護する

ばあちゃんっ子
かばくのかば
みきちゃん
朝陽
泡姫
大阪のアン
ロンキジ
みかだいはの
小桜なちゅちゃん
チュン子すずめ
いーじー
まるみるく
羽華
石川照夫
とよ
がうがう
瑠珂(るか)
ともたん
しろっぶのママ
きじとら
風まかせ
ちはる
いっちー
みなみかぜ
ミッドフィルダー
賛平
稲岡俊一

また来るねこれが最後にならないで
来年の梅も見ようと声かける
オロオロとまた強かに義父生きる
目を閉じた父に一言お疲れ様
目をつぶり父母は微笑む畳の香
救われる看護師さんのいい笑顔
またみたい故郷を想いつぶやく夜
何度でも聞くと結末知る話
ありがとう確かに母はそう言った
ありがとうこの一言が支えです
地に伏して地より起き立つ命あり
口喧嘩した母の口今は閉じ
親不孝日々後悔の介護かな
ありがとうだれかを思うそのきもち
脛齧り父よも少し嘆いてよ
折り紙で遊びし母の幼顔
変異する菌に変わらぬ介護の手
最後まで笑顔の母に涙ぐむ
舞う桜最後の春を見てる母
生きていい私が守る母が言う
認知症妻の笑顔にみな笑顔
もう一度あなたの声を聞かせてよ
こんなにも小さかったか親父の背
寄り添って支えてくれる優しい手
我が身より還暦の子を案ず母
髪とかす母子の位置が変わりゆく
おはようと言わせてくれぬ朝が来る

まだい
たかひろ
つばさんご
パート主婦
井上喜美子
ショクド-
井上まどか
みついと
澄海
国家機密
もくず
しゃりべん太郎
法螺吹き
いわさきまほ
森のくまおじさん
遊泉
岩中幹夫
岩ちゃん
とよ
黄くま
湯快爺上田
あーさまま
月うさぎ
ゆうこ
うしたん
クウ
紅玉

最後まで教え子の恩頼伝う
ありがとう言っておきたい言えるだけ
初体験あなたのいないこの世界
まばたきで父と語らう午前二時
会いたいと言えない母の声震え
ありがとうくれた貴方にありがとう
その言葉おくすりよりも効き目あり
オムツ替え気持ち良いですありがとう
このままに明日も続くと気の灯り
まるい背に寄り添うためにまるめた背
まだいまで巻き戻せたら終末期
穴が開くほどに見つめる母の息
共に泣き共に笑った白い骨
声に出ぬそのまなざしが叫んでる
紅さして母と出かけて笑いたい
かかっても差別しないで悪くない
あれがないこれみつかったそれがない
嫌なことあっても笑顔忘れない
がんばれにハイと答えて目を開けず
悔しいと文字盤読めぬ父嘆き
昨日より出来る事増えああ嬉しい
言葉なく心で話す祖母と母
真夜中の電話のベルに母思う
その命いらないのなら俺にくれ
紙オムツ心の声も包んでる
おはようと交わせる日々ありがとう
もう一度名を呼んでくれお母さん

ロキ太郎
ぺいちゃんまん
あしたのリョー
飛騨まり
ゆずママ
キッド
なーすのたまご
プリン
よしぼう
フェアリーST
春樹
来音
マコッチヤン
かるがも M
くりす
ミーオ
風姿
大須賀美香
クッキー大好き
がっちゃん
まあまあ
大塚遥香
さち
大成冬真
福耳式部
しほりん
淡海

亡き祖父の形見の杖に頼る母
痛みますか?その一言で痛くない
「ガンバレ」とママに寄り添う小さき手
空にゆくならばあなたをおいていく
お大事にみんなに渡す処方箋
無力でも傍にいたいのでいさせてね
子のために母はホームの戸をたたく
夕暮れの帰宅願望知恵比べ
歳重ね親の嘆きが今解り
笑む母のかくす辛さを抱きしめる
ありがとうと言えないんだね永遠に
ちょっとだけ赤ちゃん返りする病
マスクなしようやく会えた画面越し
長い夜母の命を決めてから
白衣追い「貴方で良かった」の遺言
介護して介護をされて老夫婦
一年を十年分と決めた夜
生き様へ無上の情をありがとな
臥す母へ今は私が子守唄
また来るが一番つらいさようなら
母倒れ改めて知るありがたさ
ごめんねがありがとうねと変わるとき
もういいの?もういいんだよ。ありがとう。
背を摩る不安が消えるまでさする
母よりも先に来るなど戻される
ウグイスの次は聴けるよホトトギス
何度ふとんこうして掛けてくれただろ

岩海苔
大野美波
かんちゃん
クルミガナッシュ
大藤哲生
松ぼっくり
美ら小雪
岡崎雄樹
岡澤敏亢
ガイア
しんぺー
岡村理江
haru | 225
かぐや姫
たーき
小川喜洋
マッチ坊
お酢
夢追い人
小田慶喜
1012
ショコ
小野寺葵
ふーみん
ちゃったマンゴー
黒南風
瀬戸ピリカ

桜見る小さな背中来年も
また来るよ言いたくなった退院時
負けないよアナタの笑顔見たいから
最後まで涙消そうと笑う母
お母さん看取るよ僕が心まで
威厳など捨てたオヤジの「ありがとう」
ゴム手袋ごしに伝える温かみ
眠ってる母の寝息に安堵する
目を病んだ父にトマトの色を言う
あと少し私にだって出来るはず
波の音聴きに行こうよ諦めず
この期にて子を案ずるかああ母よ
大病よおかげで子らと雪解けだ
病室で離れた家族繋ぐ父
今朝もまた初めましてと母に会う
命はねみんな平等終わりもね
動け足！歩ずつでもその先へ
ウェブ面会切ることできぬ伸びた爪
小窓から母の笑顔を垣間見る
百三歳父の記憶は宝物殿
大丈夫強がる親父わかってる
お願いよ食べてほしいよ生きてほしい
手術待つ小春日和よ我に來い
ガラス越し1年ぶりに咲く笑顔
ひ孫でき会えぬ、さわれぬ写真抱く
亡骸という文字なぞる夕陽窓
余命聞くなす術もないもどかしさ

禿頭庵
すずらん
麗華
ボックチン
カジ
かのカッチャン
さきみち
つぶ焼きイモー
いーなん
さとゆう
くう
進ノ介
pon
のぼる
かきくけ子
兼中千登勢
先生
むーむー
ピコ
おとみさん
見習いパパ
りよ
カワサン
Tact
こっちゃんママ
ナツオ
せしん

振り絞り母が囁くありがとう
研修医泣くな患者に励まされ
この道はいつか来た道帰る道
見送るも見送らるるも門出なり
母母に子が子になるよ訪問日
お母さんどんな時にもありがとう
鯛雲父呼べば声届くかも
玻璃(はり)越しに触れる掌(て)と掌(て)の面会日
宿痾(しゆくあ)負う子よなお生きよ春は来る
見えぬふり聞えぬふりも受け止めて
もう一步背中を押してくれた人
ありがとう指切りをして母は逝き
終わりなき息子の介護父子家庭
優しさをいつも待ってるありがとう
二拍子か点滴を見て父が言う
私見て!データではない「人間」を
少しずつ子供に帰る母愛し
今会った母から電話「いつ来るの?」
良くなって想いを込めて器具磨く
ペルテスと戦う息子強くなれ
この人になったつもりを何度でも
倍返しいつもありがとうその笑顔
母の声手の温もりを焼き付ける
看護師と一緒に泣いてくれました
ばあちゃんを娘の顔で看取る母
この人の後に私はいきたいの
弱き笑み君の希望にそえてるか

糖質無制限
せちい
ばっさん
春風
まびまび
河村めぐみ
タック
菅喜久代
菅伸明
こちけい
菅宏史
菊池久男
菊の字
けいこ
未央柳
翔子
タコマロ
吉哉郎
きのっぴ
MAMA
青田風
あいちゃん
久保田毅
夢追士
ともせんこ
クロワッサン
フミ

逝きたいをまだ生きたいにするホスピ
泣かないよ小さくなった父拭う
不孝者親より先に逝くなんて
素敵です今日の朝日とその笑顔
自問自答母の最期にできたこと
金魚達命の色で泳いでる
せつないよ笑顔と涙ガラス越し
明日はまだ生きているぞと笑う父
生きるとは桜見ること花吹雪
「会いたくて」言えずに母の手を握る
手をつなぎ歩いた妻の手を引く夜
これほどに時よ止まれと思ったか
夏燕あれは寝たきり前の母
帰ろうか看取ると決めて春支度
「抱っこして」せがむあの子は画面ごし
たくましさと裏腹の背中かな
3センチ縮んだ父の空元気
壊れ行く母に二度目の飯を盛る
感謝してまた感謝して退院日
流れ星連れて行かないでと願う
深夜二時母に付き添う救急車
いつだって明るい笑顔くれた人
そこにいるだけで温か母の椅子
ありがとうその一言で報われる
陽炎や路面に近い車いす
親の背を拭きつつ昔思い出す
聞こえるか孫とひ孫のありがとう

カラスの行水
ぽんちゃん
ピンちゃん
紙飛行機
いちまむ
ゆうゆう
えいこ
シュバルツ汁粉
ころん
大海の真珠
しずくのじいじ
しーしー
ホスピ樽
ブルーライト
タカポン
ぽんすけ
ごん太
ひろP
和風人
すずらん
日向(ひなた)
みどり人
シオリ
KENZ
チビタンク
はる君のじいじ
桜

ママがいい星になってもママがいい
手を伸ばし求める父の手を握る
面会室出てからそっと拭く涙
久しぶり会った父の背小さくて
もう行くの？いるよ、母ちゃんまだ逝くな
どの汗もどんな滴も母のため
母がいるただそれだけで青い空
失って気付く平穩だった日々
涙する「ありがとう」だけが人生だ
花火だよ病窓つなぐ夜空かな
生きたいの願い叶えてくれた星
終わらない夜はないから頑張ろう
我がままと知りながら言う「逝かないで」
「気持ちいい」シャワーのお湯で皆ぬくい
もう一度振り返る日をおもいだす
背をさすりやっとなつと父娘にたどり着く
何度でも雨に打たれて気づく声
目を開けてあなたは今も生きてるよ
笑ってる母さんが好き昔から
少しでも埋められたら寂しさを
悔しいなつぶやく父の小さき背
気がつかれそうで言えない「ありがとう」
いまするのわすれるふりははやいかな
母の手と間違ふような優しい手
分かっているそれでも式に来て欲しい
ありがとうなんて最期に言えるかな
目を閉じる生きようとして今あなた

ぴい
しまうま
小原久美子
ゆーみ
じゅん
ターバン
マロン
ちく
空師
睦月
満天月
坂井真樹
shin
田舎のおばさん
ゆうやけ空
中年やまめ
不老長寿
三日月
sato
さき
豆腐丸
ひだまりのねこ
佐藤美優
お疲れ葉っぱ
やぎ
ゆいまーる
サワケン

もう泣いていいぞと笑う親父の目
ありがとうこれで夜勤も乗り切れる
忘れない最期のことはありがとう
一緒だよ母乳届けてママいるよ
ガラス越し泣き叫ぶ声逝く祖母へ
父の手を握った記憶いつ以来
お母さんたまには言ってわがママを
いつかくるその日は先であってくれ
声の出ぬ母は眼で言うありがとう
砂時計が如き呼吸に語りかけ
寝たきりの母が私に「こんにちは」
何もかも忘れた母の旅続く
死にたいはまだ脈があるそうなんだ
爪切りもしてくれるのか涙出る
忘れても良いからいつも笑ってて
忘れたのそれでも母はずっと母
空が泣く無情流るる空と泣く
車いす押して夕焼けこやけの日
母を看る返せない恩詫びながら
最期まで生き様見せた父の意地
久しぶり初めましてが滲む顔
繰越が出来れば良いな今日元気
あの母が気丈な母が子に戻る
忘却の子の手を握り帰らせず
ぼうと生きぼうと施設の暖房車
一世紀時刻まれた手を握る
我輩は名は忘れたが人である

八木五十八
とも
ゆうそうママ
ずんちゃんママ
ひなた
銀河の端
拓ちゃん
私はだーれ
ハルル
介護ママ
70歳息子
シロー
白石雅義
デミー
リーぬ
あやめ
新屋洋子
もふもふ
湘路
りこあんな
ピマイ
ブレンディー
なおじい
モト
かくれんぼ
須田帆菜
花式部

ありがとう?なにをおっしゃるこちらこそ
もう二度と甘えられない手を握る
同じ空開く花見て閉じゆく目
後悔をしない介護にある誇り
画面越し母との距離が縮まらぬ
最期まで出来る限りを最期まで
介護する窓辺に来たり初燕
老老で介護する子を見送る日
日常のほんの些細がいとおいしい
母の背をさすり見上げる冬の空
何度でもどんな用でも電話して
じっと聞く今を大切にの言葉
ゴールみえ今日一日が愛おいしい
看取りの日遠くで子らがかくれんば
一輪で昔話に花が咲く
散り際の見事さまでも母だった
意識無い耳に囁くありがとう
病棟を照らす白衣の無影灯
寝たきりのシーツのしわよほそ腕よ
忘れてもいいよわたしが覚えてる
コロナ憎し看取れぬままに亡骸に
死ぬ気なら何でもできる僕にはね
子守歌子忘れ祖母がロズさむ
クチナシの祖母へ名前もまだ言えず
秒針の動きを指で止めてみる
リハビリの甲斐あり母の散歩道
病む母に月みえる場所まくら置く

せきや
せきぼー
あーちゃん
福多郎
アカエタカ
たいじゅ
はるかぜ
土居耿
比呂志摩
高木孝太郎
ちーたん
テクノボー
チャコ
かっちゃん
川サフラン
腹ペココーギー
楽庭
北風
むにえな
道産子
田上幸喜
ルアーマン
寄り添い小町
むらさき
竹内いちに
レイチェル
竹田篤子

最後まで孫に生き様見せた父
看護され人の温もり見つけたよ
物語いくつも書ける子の介護
喜べぬ痩せてく母が切なくて
母だったただそれだけでありがとう
お別れで泣くのを我慢無理だった
話せない動けなくても母は母
この星で出会った奇跡ありがとう
支えてる手に支えられ生きていく
父さんが弱気で甘え父ちゃんに
笑顔なら僕は名もなき人でよし
孫の子を見たいと今日も立ち上がる
目が動く春の風だよ分かるんだ
病名はそれだけですか「歳のせい」
しわと笑顔忘れられても忘れない
元気かと手紙に託す子の気持ち
わがママを最後にひとつ「まだ生きて」
痛いなら痛いと言って良いんだよ
お見舞いに行った自分が励まされ
冷たい手握った祖母にごめんねと
神様よもう少しだけ時間くれ
小さな手いつか超えてよ母の手を
息詰まるそんな夜が明け朝が来る
地球より重い命を介護する
人生にお礼を言ってお暇乞い
あこがれの老人ホーム監獄だ
戴帽のきみに救われ笑う今日

くまちゃん
ますくど
まこっちゃん
くずれ荘管理人
たあにゃん
スコッチ
いろは
たんぼぼ
坂の上の雲
小太郎
タナベトシユキ
リハーマン
角奈緒也
木立慈雨
クラーク
つくんさんさん
つちのこ
土持あゆ美
泥だんご
とも
キキララのキラ
やま
トクシマ
てる味
よし得
あいちん
トミー

僕の手を握り千切って頑張っ！
ギリギリの気管切開母つよし
寝不足をいたわるように母は逝き
握る手に乗せる言葉は「ありがとう」
温もりと貴方の匂い忘れない
もう声がでないあなたの目が語り
動かぬ手足雑巾で何を拭く
叱るより叱られたいのわかってよ
悔いはないおまえとすすろホスピケア
大丈夫これからウチが支えるけん
まだ持てる？冥土の土産渡したい
モニター音外は夜景の輝る街
親子だからいいの名前を忘れても
夫の後頭部(あたま)見下ろし涙背に隠し
握る手の微かな応え生きてるよ
あせるなど言ってた母にあせるなよ
介護士のポツリもらした母の「闇」
ゆっくりね追いつくからねゆっくりね
生きる意味まだ分からないから生きて
「逝きなさい」涙で押した子の背中
点滴が外れ御粥の旨い事
痛み耐え微笑む母よまた来るぞ
ああ母よ思えば僕の犠打ばかり
記憶より今日の笑顔があればいい
会うたびにはじめましてといい笑顔
探し物何を探すかつい忘れ
迎え待つ施設暮らしは籠の鳥

ぶんた
わこわこ
いつまでも母
Sima
偉木海月
月つばめ
さくらじまん
ぴこし
RON
あんねこ
るんるん
らくちゃん
中原政人
さんちゃお
虹色
食眠
アバローニ
中村利之
チョコたん
みゆ
中村宗一
竜門
中村龍司
香のん
まゆりら
デシ
仁太郎

いつの日か待つ身にならむ面会日
わかってる?父呼ぶ娘父笑顔
待ってたとわずかな灯火燃え尽きる
死にたいは贅沢だったありがとう
さびし気にふと笑みかえす母施設
いった日に買い物メモ残りおり
お父さん最期に奇跡見せとくれ
父からのバトン確かに受け取った
反応があるただそれだけでそれだけで
泣き虫だった娘私をひよいと抱く
手を握りそばにいてくれ気が晴れる
荒れた手でゴメンとさする痛み止め
赤ん坊に戻った父が愛しくて
冬の日の熱きおでこへかじかむ手
頼むから動いてくれよ俺の足
先生よ呆けても俺に聞いてくれ
手を握り手を握られて朝を知る
息づかい東雲色に染まる部屋
もういいかなと言った自分の目に涙
清拭をされると母は手を合わす
やせほそるかťて無敵の「呂布」使い
言わせたいごめんねよりもありがとう
ありがとうの尊さを知るこの時間
馴れ初めを何度も語る祖母の笑み
何もせずただ手を握る枕元
妻の手が心の杖になっている
後悔も反省もした介護の手

モコ
クウのジイジ
みる
西尾幸恵
みやちゃん
ヒロちゃん
しなやかーる
よもぎ春子
雑草
ヨリコのおまけ
パグ
らいら
タル
九(いちじく)
セントちゃん
えびみく
HashTosh
シュギー
モカ
母ひとり子ひとり
ふたたび
まりも
ジョアン
さやか
長生きしてね
かたこるよ
今ゆうよ

先生の三行半でいざ退院
ふるさとを忘れふるさと歌う母
君のその可愛、顔みて旅に発つ
忘れてもあなたのことは忘れない
「ありがとね」素敵に笑顔見習います
余命宣告日とくに過ぎている元気
いつかまたおもいだしてよわたしたち
子の顔は忘れても母子守り唄
ひたすらにただひたすらに手を当てよ
窓越しに大きいままの親父の手
愛してる言うなら今だまだ間に合う
生きざまを変えない父は潔い
我の名を思い起こせし蟬しぐれ
カルテには記されていないあたたかさ
温めたい冷えたその肩その両手
母の笑みさいごに入れた宝箱
またあした母に会いたいこの先も
最後まで親子のままでいてくれた
もう一度名前を呼んでお母さん
握ってよ昔のような握力で
とりあえず生きて生きてよ飽きるまで
正直に生きて笑顔を背負ってる
横になる小さき母にありがとう
緩歩するこれは桜よ菜の花よ
尊厳死道案内は介護人
大丈夫電話の声も寂しそう
「どこ行った」幼き俺を探す母

山法師
つべる
平形幸雄
ねむねむ
さおみー
三日坊主です
まいまい
はなばあば
ゆっきーな。
桃李
ワイさん
天和
そめい
まろん
ぴよんきち
はるやす
もん
まじか受験
ぶーちゃん
夢追い人
ばーのん
よしりん
おーさん
七つ星
岩窟王
エイちゃん
上の空

病室で握る父の手縮んだ手
生きていた温もりがまだそこにある
できるなら足して割りたいあなたの命
いかせるかそれなら我をつれてゆけ
伝わるか痛み耐えてのこの笑顔
病室の叱咤激励母の声
壁伝い見送りに来た祖母裸足
辛いよねただただ母をさするだけ
同室の同病患者友となり
泣き虫と笑う父見てまた涙
配膳の時間が迫る朝三時
おぶわれた祖母の曲がった背をさする
にしがはち蜂は西から飛んでくる
もう一度歩いて!花が咲いている
春近しベッドの母の薄化粧
ありがとうおもいをこめておむつかえ
介護から嫁姑が母娘
明日はもう忘れる父と月を愛で
叩かれた今は皺の手そっと撫で
後悔は無いと思ったでもあった
穏やかに眠る寝顔にありがとう
いつの間にいつか来る日を忘れてる
生涯を誓った人と病室(ここ)にいる
余命とは天寿のことと父笑顔
最期まで大きな傘であり続け
ありがとう最後に聞いた父の謝辞
自己嫌悪母の介護の帰り道

ほり・たく
めめりん
よういちくえ
きり
ママがんばるよ
介護太郎
猫田しろ
山宗雲水
まきちゃん
由宇
夏来玲志
うなじゅう
松井利一
松下弘美
清詞薫
まつ
松田少納言
松田素風
松田成広
松庵
ひこ
さごじょう
ゆうゆうパパ
悦
みつどもえ
マルちゃん
ぷ〜ちゃん

頑張れと冷凍母乳子に届け
これまでの人生懐う 10 日間
寝たきをひとりきりにはさせぬ宵
ねえかあさんもうしばらくはそばにいて
幼き日繫いだ祖母の爪を切る
管は嫌十分生きた安らかに
看取った日自問自答の更衣室
手を握り見送られたい頑張るね
骨つぼのデザイン指定する元気
帰りたいあの一言が離れずに
右出ない左もたつく杖と足
ありがとね逢いに来たよと夢の中
わすれんで洗濯物の畳み方
大好きと命消えても言い続け
ガラス戸の内にくぐもる母の声
見送られ感謝感謝の退院日
逝く母を見守るだけの長い夜
生きたいと布団かぶって声ころす
回診の白衣の列の神々し
報われた最期の言葉ありがとう
延命か決断迫る日々地獄
ただ母をただ母と呼ぶ枕元
姑(はは)の居た施設に香る金木犀
罪なのはあなたに言えぬ「ありがとう」
私の名忘れていても母は母
手が語る父の強さと温かさ
手をにぎり側にいるよと伝えてる

梅子
と〜ちゃん
とみやん
きこり
春九日
ミツもん太郎
ルーキー
とっぼぎ
阪神はるか
はがくれ3
真面目っ子
あび
しいちゃん
けんちゃん
ミヤカン
揚げすぎのコロッケ
サンディ
村岡活力
寅次郎
こんちくわ
しょう
夏舟
ぴーちゃん
青い鳥かご
ワッキー
みらいむ
ぶりたれ

今解る祖母言う痛み身に染みて
切れ端に書かれた五文字抱きしめる
部屋が空くベッドシーツの白さかな
生きていく母に笑われないように
握った手握り返すよ母の手が
最期まで無神論者で逝くつもり
頑張れと言わぬ家族に励まされ
消えたいよ小さい背中震えてる
「大丈夫」先生からの特効薬
ふれられたその手に想う祖母の顔
ありがとうそんなあなたにありがとう
うたたねの母に毛布をそっとかけ
意識なき母の鼓動に励まされ
目を閉じて微笑む母を湯に浸す
あと5分君の奇跡を信じてる
病室が月より遠い一週間
崩れゆく父は子達に応援歌
我がベッド夕暮れ色で寂しそう
人生の終止符を打つひと呼吸
木洩れ日を背中に受けて握る杖
泣くこともかなわぬ介護流す尻
嫁入りと施設入所を笑う母
見舞うたび勇気をくれる母強し
点滴のしずくに映る四季の色
運ばれて家事の差配をしつつ逝く
あと1日もう1日と願わくば
彼らしい最期の言葉「ありがとう」

やすべ
チェミ
風鈴
とおる
虹のとし
山口のペー助
ちい
もも
月子
あおむし
皆に感謝さん
看護師のひとり娘
山田明
三河の空
多賀二郎
れおにゃんこ
ドントミツ
三文判
little
山本明徳
山本明
らなな
やまとも
イシゴニス
マリーちゃん
みーよ
しゃんしゃん

いつまでも元気な母がここにいる
介護する僕に優しく「頑張れよ」
「ごめんね」と「お疲れ様」と「ありがとう」
まだやれるあなたにもらうありがとう
忘れても良いよ明日も来るからね
母の意思大事に看取る最後まで
添い寝して母に聞かせる子守歌
老齢の今も二の足齒の治療
知らなかった母の手のしわ手のぬくもり
臥すこともなかった母の寝るベッド
車椅子押して二度目の花見かな
わるいわねと言う祖母の手に育てられ
張り詰めた糸解きほぐす六度五分
私より小さなナース父かつぐ
戦場と謳うのならば戦力を
最後まで二人で回す走馬灯
命ごとつなく刺し子の赤い糸
仏滅も大安もなし白衣着る
貴方に習った折り紙今は私が教え役

あき
横手敏夫
アントン
健吉
伐株
豆助
トモママ
吉田正覚坊
KET
黄金虫
となみ
はなすみ
夢月
echelon
若林凌駕
蒼介
うおすけ
三郎
わんこ

以上 一次通過 500 作品